

## 特別講演

免疫とがん、アレルギー、炎症

筑波大学医学医療系・生命領域学際研究センター

渋谷 彰

高等動物であるヒトは、病原微生物に対する生体防御機構として、きわめて精緻に統合された免疫システムを築き上げてきました。ヒトの進化と生存は感染症との戦いにおける勝利の歴史であったとも言えます。しかし、エイズ、エボラなどの新興ウイルス感染症や古くから存在する結核、インフルエンザ、マラリアなどの感染症は現代にいたってもなお人類にとっての最大の脅威です。

一方で、免疫システムの異常は自己免疫病、アレルギーといったきわめて今日的な難治疾患の本質的病因ともなっています。また癌や移植臓器拒絶なども免疫システムに直接関わっている課題です。これらの疾患の克服には、免疫システムの未知の基本原理を明らかにしていくことが重要です。

本講演では、これらの疾患の克服を目指した我々の研究グループの研究成果を紹介しながら、免疫と疾患との関係について考察します。